

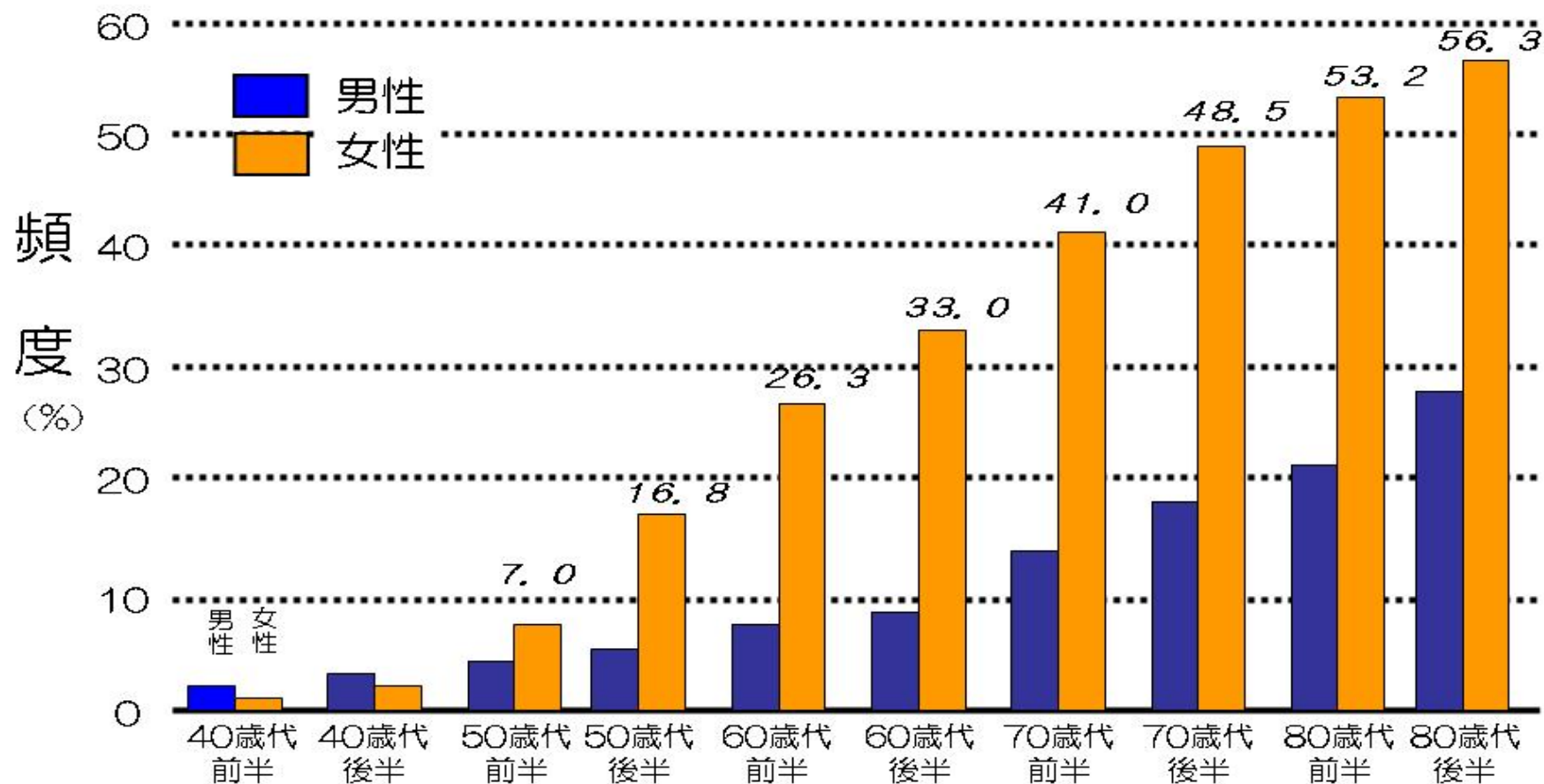
わが国における乳がんの動向 (1)

- わが国では1年間におよそ 35,000人の女性が乳がんと診断されている。
- 乳がんは特に 40～50歳代の女性に多くみられ、例えば 45～49歳の女性では1年間に1,000人に1人が乳がんと診断される（胃がんの3倍のリスク）。
- 40～50歳代の乳がん発生率は、この20年間で約2倍に増加している。
- 乳がんで亡くなる女性は1年間に 10,000人で、40～50歳代の女性におけるがん死亡の23%を占め、この年代の女性にとって最も多いがん死亡原因となっている。

〔（出典） 国立がんセンター がん対策情報センター「がん情報サービス」より〕

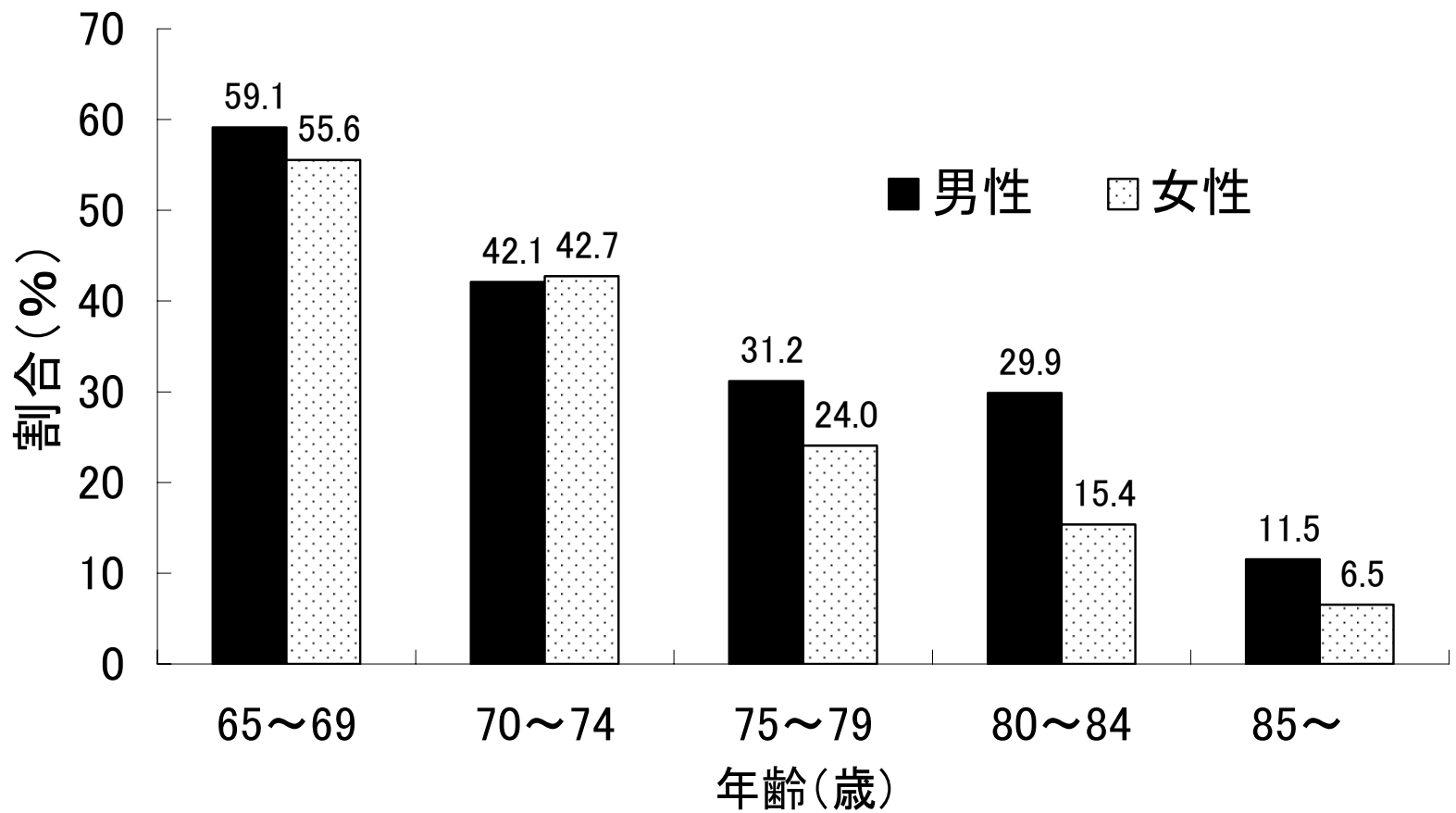
骨粗しょう症該当者の推定割合(年齢階級別)

骨量がYAM(若年成人平均値)の70%未満の頻度



新健康フロンティア戦略賢人会議第3分科会(第3回)資料より

(山本逸雄: Osteoporosis Japan 7(1):10-11,1999)



20歯以上の歯を有する者の割合

※女性のほうが少ない傾向

(資料:平成17年歯科疾患実態調査)